

2026年度 医師処遇改善及び負担軽減計画

	目標	計画
タスクシフティングの推進	看護師と業務分担をする	特定行為研修を受講する看護師の推進と活用。
	薬剤師と業務分担をする	PBPMプロトコルの取り扱い薬剤を増やす。
	臨床検査技師と業務分担をする	①造影剤腹部超音波検査における静脈確保・造影剤注入・抜針の一連の行為の継続。 ②経皮的肝焼灼術（RFA）・肝生検の介助対応 ③迅速細胞診の対応拡大 ④術中MEPモニタリングの針電極装着
	臨床工学技士と業務分担をする	告示研修を受講する臨床工学技士の推進と活用 鏡視下手術における体内に挿入されている内視鏡カメラの保持及び手術野に対する視野を確保するためのカメラ操作
	医師事務作業補助者と業務分担する	医師事務作業補助者が行える業務の拡大。 各管理料に対する必要なカルテ記載の代行入力など
	管理栄養士による業務分担する	患者からの嗜好の聞き取り、食事に関する代行入力を継続。 入院患者の栄養指導オーダーの代行入力（特に、患者希望時やスタッフが必要と考える患者に対するオーダー）
	ITの利用	ITを活用した問診の継続（AI問診） ITを活用した入院案内
労働時間管理の適正化	時間外勤務時間の把握。 労働時間該当性の認識強化	所属長による時間外勤務時間の管理を強化。 所属長による面談実施を検討。 業務時間内のカンファレンスの実施。不要なカンファレンスの見直し
複数主治医制の推進	各診療科において当番制の導入の推進	院内で検討。
短時間雇用医師の活用	短時間雇用医師の雇用・活用	短時間勤務医師の雇用と活用の推進
オンコール体制の構築	診療科ごとのオンコール医師を配置	オンコール体制の把握 できていない診療科への働きかけ
当直体制の適正化	当直体制の充実	連続当直を行わない勤務体制の実施 夜間休日の看取り対応など、主治医業務代行

2026年度 看護職処遇改善及び負担軽減計画

	目標	計画
看護職員と他職種との業務分担	薬剤師と業務分担をする	GS1バーコードを用いた、医薬品チェックシステムの導入を検討。
	臨床検査技師と業務分担をする	①病棟採血業務の継続と対象病棟の増加を検討 ②病棟再採血業務の充実 ③持続皮下グルコース検査（リブレ）の器機装着と脱着、管理体制の構築
	臨床工学技士と業務分担をする	①医療器機の管理の継続 ②超音波ネプライザー、エアーマット、吸痰器、救急カートの消耗品、感染患者が利用するバイタルサイン測定の設定の管理の継続 ③新病院建築までに手術室業務可能者を増やす
	医師事務作業補助者と業務分担する	①外来の診療の補助の拡大
	臨床心理士と業務分担する	①外来・入院患者のメンタル的サポート ②カウンセリング
	MSWと業務分担	①入退院支援業務について家族への説明及び調整
	事務職員と業務分担	①コストなどのカルテの整合性確認（医事課） ②通訳者による外国人患者への対応（医事課）
	歯科衛生士と業務分担する	①NPPV、挿管患者の口腔ケアの介入
	管理栄養士と業務分担する	①食事摂取不良患者への聞き取りや食事オーダーの代行入力を継続
	放射線技師と業務分担	①RI薬品・造影剤の穿刺ルート確保、注入、抜針までの一連の行為・基準の作成の継続
	施設課職員と業務分担	①施設課職員による病室の消毒作業の継続
	入退院支援センター	①説明、支援指導における多職種協働の拡大
看護補助者の確保	看護補助者の確保をする	①派遣の看護補助者の採用、教育の充実
短時間正規雇用看護師の活用	短時間正規雇用看護師を有効に活用する	①週休3日制度の推進
妊娠・子育て中、介護中の看護師に対する配慮	妊娠・子育て中、介護中の看護師に対する配慮	①復帰前のならし業務 ②さまざまな制度の認知度向上と利用者の拡大

2026年度 医療従事者処遇改善及び負担軽減計画

	目標	計画
院内保育園の活用	休日、夜間保育の活用推進	院内周知 保育園との連携
男性職員の育休取得	男性職員の育休取得の推進	制度に関することの院内周知 実績の広報
処遇の改善	新水準のベースアップ 評価料による処遇改善	診療報酬のベースアップ評価料を 賃金に充当させる